

ラジオ大阪制作の3番組が 日本民間放送連盟賞近畿地区最優秀 賞トリプル受賞！

日本民間放送連盟賞近畿地区
ラジオ生ワイド部門最優秀賞受賞
「NEWS ワンダーランド」

日本民間放送連盟賞近畿地区
ラジオ教養番組部門最優秀賞受賞
「日本初の私鉄電車と松本重太郎」

日本民間放送連盟賞近畿地区
ラジオ報道番組部門最優秀賞受賞
「戦後60年特別番組 足が生えてこなかった」

平成17年度日本民間放送連盟賞近畿地区審査（主催：日本民間放送連盟）において、ラジオ大阪が制作した3番組が最優秀賞を受賞した。

日本民間放送連盟賞は、番組の質的向上を図ることを目的に昭和28年に創設された賞です。

日本放送連盟賞は、毎年1回実施され、ラジオでは近畿地区のAM・FM12社が「ラジオ生ワイド番組」、「ラジオ放送活動番組」、「ラジオ教養番組」、「ラジオ報道番組」、「ラジオエンターテインメント番組」の各部門にエントリーし各部門1作品のみ優秀な番組を表彰している。

ラジオ大阪が3部門において受賞するのは、昭和33年の開局以来の快挙です。

生ワイド部門「NEWSワンダーランド」(月～金曜日の午後3時から5時30分)は、メインパーソナリティで「ザ・ぼんち」の里見まさとが持つバラエティ感覚と、50歳代の男性としての里見まさとが持つ感覚を織り込むことで聞いて楽しいニュース番組として好評である。

今回の受賞理由として、「ニュース番組の要素にバラエティ感が織り込まれ楽しい番組であった」、「里見まさとさんの一生懸命さが伝わる」、「さまざまなリポートが丁寧に番組の中に組みこまれ総合力のある内容であった」などと評価をされた。

里見まさとは、今回の受賞について「NEWS ワンダーランドがスタートして約1年。このような形で評価をいただけたことに大変恐縮しています。今後も、これまで以上にリスナーのみなさんと同じ視点に立ち、共に学び、考えながら情報を伝えていきたい」と話していた。

教養番組部門「日本初の私鉄電車と松本重太郎」(平成17年5月27日午後6時20分～7時放送)は、日本で始めて民間鉄道を創業した実業家松本重太郎のベンチャースピリッツを明治という時代を背景に表現した番組。

受賞理由として、「元気のない関西経済に勇気を与えるような人物の話であったので興味深かった」、「ベンチャーのさきがけのような人物の話はインパクトがあった」などと評価をされた。

放送番組部門「戦後60年特別番組 足が生えてこなかった」(平成17年5月28日0時～1時放送)は、太平洋戦争末期、大阪大空襲で大怪我を負った人々が60年たった今でも苦しみ続けている現状を描いたドキュメンタリー。若い世代に聞いて欲しいというコンセプトの元、深夜帯で放送を行なった。

受賞理由として、「若い世代に伝えたいという思いがよかった」、「戦災被害者の肉声もたらず目に浮かぶ情景とその内容に心が動かされた」などと評価された。

尚、教養番組部門「日本初の私鉄電車と松本重太郎」と放送番組部門「戦後60年特別番組 足が生えてこなかった」は、今年8月に行われる日本民間放送連盟賞中央審査に出品され、全国9ブロックの優秀作品の中から最優秀賞の獲得を目指す。

ラジオ大阪では、「日本初の私鉄電車と松本重太郎」と「戦後60年特別番組 足が生えてこなかった」の再放送を行なう予定。